

令和5年度 主要事業の概要

令和5年度は、「第6次焼津市総合計画第2期基本計画」の基本構想に掲げる将来都市像の実現に向けて、6つの政策と21の施策を着実に推進するため、4つの重点取り組みを中心に力強く進めていきます。

令和5年度予算における主要事業の一部を紹介いたします。

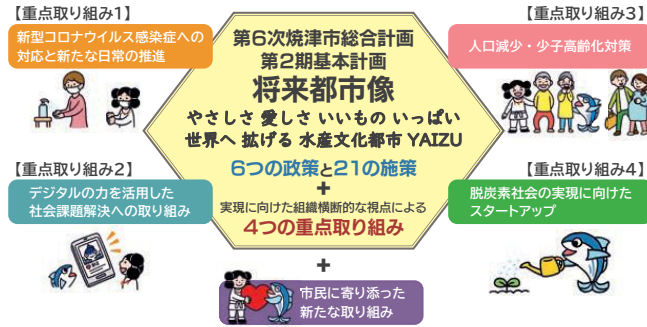
※詳しくは市ホームページを確認するか、問い合わせてください。

問合せ先 財政課 0626-2142

- 【凡例】**
- 新規**…今年度新たに取組む事業など
 - 強化**…既存事業を強化・拡充して取り組むものなど



市の主要施策（概念図）



【重点取り組み1】 新型コロナウイルス感染症への対応と新たな日常の推進

- やいづワーク（新しい働き方）導入事業（4,499万円） 強化**
「水産業と異業種とのコラボレーションを促進させる場」で、「転職なき移住」を実現するため、4月末にプレオープン予定の焼津内港ワーケーション拠点施設を利用する企業を支援して市内への企業進出を促進するとともに、駅前テラス施設の運営、焼津の魅力に触れる体験ツアーなどの各種事業を実施します。
- つなぐアート事業（1,000万円） 強化**
JR焼津駅前・焼津港周辺の「まち案内アクティビティ実証実験」と「コミュニティサイクルシステム」の導入に向けた実証実験を行い、各拠点をつなぐ新しいにぎわい創出の手法を検討します。
- 全国カツオまつりサミット開催事業（262万円） 新規**
全国のカツオによる産産が盛んな市町で開催されている「全国カツオまつりサミット」を開催します。
- さかなセンター活性化対策事業（1,120万円）**
アフターコロナにおける観光振興のため、「焼津さかなセンター」の魅力を改めて見直し、より多くの人に利用していただけるよう支援します。
- 水産加工業衛生管理強化対策支援事業（400万円） 新規**
食品衛生法の改正による食品の安全確保と流通力向上のため、水産加工

- 業者が実施する HACCP に沿った衛生管理や輸出・販路開拓を目的とした施設整備事業費の一部を補助します。
- 観光プロモーション事業（1,013万円）**
マゴロやカツオをはじめとする「海の幸グルメ」と良質・豊富な湯量を誇る「焼津温泉」を軸に、さまざまなメディアを活用してプロモーションを展開し、情報発信を強化します。
- 観光イベント開催事業（3,692万円）**
「海の幸グルメ」や「焼津温泉」をテーマに、グルメイベント「焼津ぐるめぐり」をはじめ、焼津みどりとまつりや焼津海上花火大会、踊夏祭など賑わいあるイベントを開催し、地域活性化を図ります。
- 高齢者いきいきおでかけ支援事業（372万円） 新規**
65歳以上の高齢者に対し、外出のきっかけを提供するため、公共施設の入場料や温泉クーポンによる入浴料の割引引きを行います。
- 新元気世代プログラム事業（452万円）**
趣味・特技を生かした市民講師が活躍する場である「焼津おとな倶楽部」において、各種講座による学習機会の創出や市民交流を推進するとともに、講座の企画や運営を行う市民講師の育成を図ります。

【重点取り組み2】 デジタルの力を活用した社会課題解決への取り組み

- スマートシティ推進事業（4,375万円） 新規**
スマートシティ YAIZU プラットフォーム（データ連携基盤）を活用し、産業・観光、防災分野のデータを使った「焼津データマップ」、「焼津データ分析サイト」などのサービスを提供します。
- また、スマートシティ施策の今後の展開を見据えたロードマップ（行程表）を作成します。
- スマート農業導入支援事業（250万円）**
先端的な農業機械による作業の自動化や、データなどを活用した効率的な施肥や除草作業などの「スマート農業」を推進するため、農作業の効率化や省力化、生産性向上などを実践する農業者に対し、経費の一部を補助します。
- 担い手育成総合対策事業（2,326万円） 強化**
将来の農業の地域リーダーとなり得る担い手育成のため、農業専門職大

- 学を卒業した新規就農者を対象に「スマート農業」のための機械・施設導入費の一部を補助します。
- スマート水産業推進事業（300万円） 新規**
水産分野のデジタル化に向け、デジタル人材の確保・育成、システム導入に向けた実証実験など、「スマート水産業」の実現に向けた事業者の取り組みに対し、経費の一部を補助します。
- システム維持管理事業（4億3,842万円）**
市の文書管理事務の効率化を目的として、令和6年度中の運用開始に向け、電子決裁機能を有し、文書の発生から廃棄までを一貫して管理できる「文書管理システム」の構築を行います。
- 議員タブレット管理事業（265万円）**
市議会では、全議員にタブレットを配布し、議会において予算の説明にタブレットを活用するなど ICT 化に取り組み、効率的な議会運営を進めます。

相談室 ■ 県中部健康福祉センターの健康相談 ▷ ひきこもり相談 日時 月・水曜日（祝休日を除く）9:00～15:00（金曜日のみ9:00～12:00）▷ 心の病気の相談 日時 4/4（火）13:15～ ▷ 酒害相談 日時 4/4（火）13:30～ 【共通】会場 藤枝総合庁舎 要予約 予約・問合せ 県福祉課 0644-9281

【重点取り組み3】 人口減少・少子高齢化対策

- 学校福祉部の新設 新規**
これまで実施してきた、不登校をはじめとする学校生活に課題を抱える特別な教育的支援を必要とする児童生徒とその家庭への支援について、専門的知識を有する職員として公認心理師や保健師を配置し、さらなる支援体制の充実・強化を図るために「学校福祉部」を新設します。
- 市が8月を目標に設置する「子ども家庭センター」と連携して、両輪となって一体的な支援を行っていきます。
- 子ども家庭センターの新設 新規**
全ての妊産婦、子育て世帯、子どもへ一体的に相談支援を行う「子ども家庭センター」を8月を目標に設置し、児童福祉と母子保健に精通した統括支援員を配置するなど、支援体制の充実を図ります。
- 外国人英語指導助手配置事業（5,599万円） 強化**
子どもたちが早い段階から本物の英語に直接触れることで英語や外国の文化に興味をもち、外国人と積極的にコミュニケーションを図れるよう、小学校の外国語授業の全時間に外国人英語指導助手（ALT）を配置します。
- 小・中学級支援員配備事業（1億728万円） 強化**
これまで集団生活への適応や基本的な学習・生活習慣を身に付けられるよう小学1年生を支援してきましたが、今年度は2年生以降も安心して学校生活を送ることができるよう「低学年サポーター」として拡大し、49人体制で支援します。
- こころのとろ事業（2,693万円） 強化**
不妊治療を受けている人の経済的な負担の軽減や少子化対策の一環として、保険診療外治療費（先進医療などの自己負担分）や不育症治療費につ

- いて、費用の一部を助成します。
- 妊産婦支援事業（2,234万円） 強化**
妊婦期から乳幼児期まで面談や訪問などによる切れ目のない支援を行うとともに、妊娠に起因する疾患に要した医療費を助成します。
- 出産・子育て応援事業（9,608万円） 新規**
安心して出産・子育てができるよう、妊婦や0～2歳の低年齢期の子育て家庭に対し、面談や全戸訪問などの寄り添った支援に加え、妊婦届出時と出産届出後に給付金を交付する経済的支援を一体的に実施します。
- 子ども医療費助成（6億6,424万円）・未熟児養育医療助成（1,520万円）**
子育て世帯の経済的負担を軽減するため、対象年齢「18歳」までの医療費を無料化します。
- また、入院養育が必要な未熟児の治療に要する医療費について、子ども医療費助成制度の併用により全額公費で負担します。
- 子ども予防接種推進事業（3億1,183万円）**
予防接種法に基づく、子どもを対象とする定期予防接種（個別接種）を実施します。子宮頸がんワクチン予防接種については、従来の2価と4価に加え、国の方針に従い9価 HPV ワクチンに対応します。
- 移住・就業支援事業（2,509万円） 強化**
東京圏から移住し、市内で就業や起業した人などを対象に「移住・就業支援金」を交付します。
- また、若者のリターンや出会いと交流の場を創出するため、第二の成人式（同窓会）を開催するグループに対し、支援金を交付します。

【重点取り組み4】 脱炭素社会の実現に向けたスタートアップ

- ごみ減量対策事業（2,477万円） 強化**
電気式生ごみ処理機とコンポストの購入費用の一部補助に加え、台所のシンク内に設置した装置で生ごみを破碎する「ディスポージャー」を新たに補助対象に追加します。
- また、黒土を利用した生ごみ処理容器「キエロ」の無料配布数量を増やし、生ごみ減量化に向けた取り組みを強化します。
- カーボンニュートラル推進機器導入事業（800万円） 強化**
住宅用の太陽光発電システムや蓄電池、エネファーム、ピークアウトホーム（V2H）の設置費用の一部を補助します。
- また、今年度から電気自動車の取得費用を対象に追加します。
- 省エネ住宅普及推進事業（383万円） 新規**
既存住宅の省エネ性能向上を促進するため、耐震性が確保されている既存の戸建て住宅を対象に、省エネ基準を満たす窓・屋根・外壁などの断熱

- 改修工事やそれに併せて行う設備の効率性に係る工事費用の一部を補助します。
- カーボンニュートラル推進計画策定事業（1,276万円） 新規**
再生可能エネルギーの導入目標の作成や施策の検討、地域特性・課題の分析などを行い、市全体の温室効果ガス排出量を計画的に削減していくための計画を策定します。
- 公用車（電気自動車）購入事業（532万円） 新規**
公用車から排出する二酸化炭素排出量を削減するため、電気自動車2台を公用車として導入します。
- 公共施設の再エネ・省エネ設備導入調査事業（5,150万円） 新規**
公共施設への太陽光発電設備導入および照明を LED 化するための事前調査などを行います。

【新規・拡充事業】 市民に寄り添った新たな取り組み

- 帯状疱疹の任意予防接種事業（1,924万円） 新規**
帯状疱疹の発症リスクが高い50歳以上の市民を対象に、予防接種費の一部を助成します。
- 困りごとマルっとサポート事業（113万円） 新規**
複雑化・複合化する支援ニーズに対応するため、子ども、高齢、困窮、障害の4分野による「包括的な相談支援体制」、「社会との繋がりを参加の支援」、「地域づくり」を行うため、分野を横断したサポート体制を整備します。
- 地域クラブ活動推進事業（356万円） 新規**
中学校生徒のニーズに応じたクラブ活動の場と専門的な指導を受ける機会を確保するため、休日を中心に実施している地域クラブ活動を今年度は12種目に拡大するとともに、新規クラブに対し準備費を補助します。
- 学校給食食材調達高騰対策事業（9,432万円） 強化**
コロナ禍やウクライナ紛争などの影響による給食食材費の高騰が、保護者の負担増とならないよう、質・量ともに確保された安全な学校給食を安定的に提供します。

- 放課後児童クラブ整備事業（2,221万円） 強化**
放課後児童クラブの利用者が増加傾向にある豊田小学校区において、定員数の拡大を図るため、令和6年4月開所に向けて新たに放課後児童クラブを整備するための費用を補助します。
- 豊田地域交流拠点施設整備事業（4億5,494万円） 強化**
豊田地域交流拠点施設整備のため、施設などの設計や敷地造成工事、建設予定地の用地取得などを行います。
- 焼津体育館再整備事業（3,000万円） 強化**
焼津体育館の再整備のため、今年度から令和6年度にかけて基本設計と実施設計を行います。
- 大井川庁舎改修事業（1億703万円） 強化**
大井川庁舎は既存の市民サービスの窓口機能に加え、健康・教育機能の充実を図るための拠点施設として、「スマイルライフ推進センター」や「教育センター」を整備するなど、計画に改修を進めていきます。
- 今年度は現「大井川保健相談センター」を「商工業研修センター」に改修するとともに、令和6年度の「教育センター」整備に向けて実施設計を行います。

相談室 ■ 県中部健康福祉センターの健康相談 ▷ エイズ検査・肝炎検査（即日検査・要予約・匿名）日時 4/20（木）9:15～11:00 会場 藤枝総合庁舎別館2階 問合せ 県中部保健所 0644-9273